

# うまい米作り 自己改革必要

■ 邑南 5ツ星マイスター講演

## 70 稲作農家 人 競争生き残り策学ぶ

米についての専門知識を持つ「5ツ星お米マイスター」の2人を講師に招いた講演会が22日、邑南町山田の出羽公民館であった。町内の稲作農家ら約70人が聴講し、産地間競争で生き残るためには「農家もチェンジが必要」と学んだ。



「消費者の望みに沿った米づくりが大事」と説く5ツ星お米マイスターの上田那未さん

お米マイスター認定制度は、日本米穀小売商業組合連合会（東京）が、

米の普及を目的に2002年度から実施。現在、3ツ星お米マイスターを約4千人、5ツ星を約300人認定している。

京都府八幡市で無農薬・減農薬専門の米穀店を営む上田那未さん(36)は「米を作るだけの時代は

終わり、栽培方法にこだわり、自ら販路を開拓していく時代」と、農家の自己変革の必要性を指摘。ニーズを敏感につかみ、消費者が望む米作りに取り組むことが大事、と訴えた。